

塩尻市の取組状況について

【令和4～5年度】

- R 4 9月 ・市校長会①「県の動きについて」
- 1 1月 ・市校長会②「県方針（クラブ大会参加）について」
- 1 2月 ・保護者通知（検討状況説明）
- R 5 1月 ・市校長会③「地域移行 市の方向性について」
 - ・顧問、部活動指導員、外部指導者へのアンケート
- 2月 ・各種目代表者との意見交換会
- 4月 ・各種目代表者へのヒヤリング
- 5月 ・部活動顧問へのアンケート
- 6月 ・他郡市の担当者と情報共有
- 7月 ・児童生徒へのアンケート
- 9月 ・**第1回協議会**

2.市内中学校にある部活動の部員数

令和5年度 塩尻市各中学校部員数

外部指導者24名

部活動指導者14名

	両小野中学校			塩尻中学校			塩尻西部中学校			丘中学校			広陵中学校			檜川小中学校			計
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
陸上				6	6	3				10	16	4	14	14	13				86
男子バスケットボール				6	7	6	8	7	8	13	6	7	7	5	12				92
女子バスケットボール	1		6	9	4	5	4	8	1	6	3	8	12	5	4				76
男子バレーボール				2	4	5	2	4	2	8	1	11	2	7	8				56
女子バレーボール	3	1	3	5	2	6	7	0	7	4	0	8	3	6	8				63
サッカー				8	2	5	2	7	3	2	10	6	9	7	2				63
女子ソフトテニス				4	12	7	9	3	2	2	11	3	14	10	10				87
野球	4		1	2	0	3	8	4	0	0	8	1	14	7	3			2	57
卓球				12	16	6							15	17	28	2	3	1	100
剣道	2	5		5	9	6	3	5	0	11	2	5	7	11	16				87
バドミントン										11	14	22							47
吹奏楽	1	3	5	16	5	12	9	9	15	12	8	12	8	9	6	0	3	2	135
美術	3	6	6	8	8	12				11	14	15	10	14	16				123
合唱													7	5	2				14
科学										8	6	10							24
茶道										8	3	15							26
家庭生活													9	11	5				25
入部者総数	14	15	21	83	75	76	52	47	38	106	102	127	131	128	133	2	6	5	1161
入部者割合(%)	82.4	75	75	83	75	73	65	63.5	55.8	73	77.3	71.8	79.4	70.3	75.6	22.2	46.2	41.7	67.0

○外部指導者 (顧問のサポート) 24名

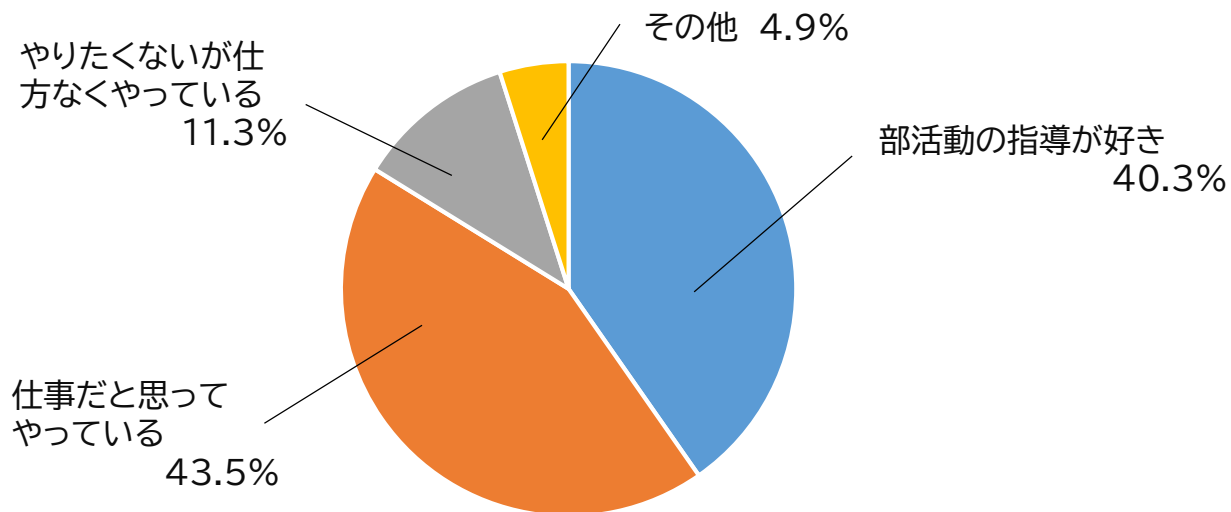
男子バスケット3名、女子バスケット2名、男子バレー1名、
女子バレー2名、サッカー2名、女子ソフトテニス2名、野球3名
卓球2名、剣道2名、吹奏楽4名、茶道1名

○部活動指導者 (顧問に代わり指導・引率) 14名

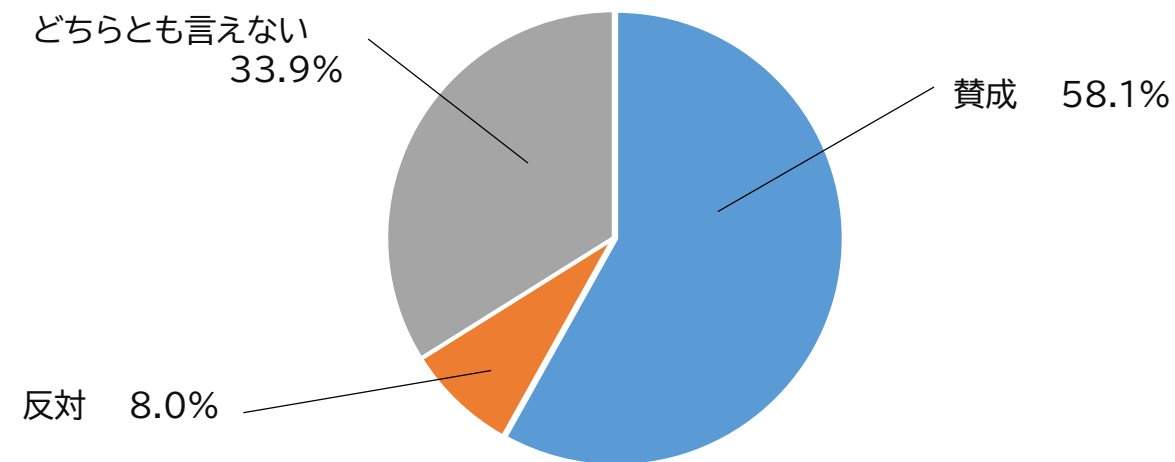
男子バスケット2名、女子バスケット2名、女子バレー1名、
サッカー1名、野球1名、卓球1名、剣道2名、バドミントン1名
吹奏楽1名、美術1名、合唱1名

4.顧問へのアンケート結果 (現部活動顧問教員対象 令和5年5月実施 回答総数62名)

(1)どんな思いで顧問をしているか



(2)地域移行についての賛否



地域移行に賛成している顧問の意見

- ・顧問によって指導力や専門性に差がありすぎる。生徒や保護者は専門性が高く結果を残す顧問を基準にして考えるので、素人の顧問にとって苦しい現実がある。
- ・外部の専門の方をお願いした方が技術面の向上が期待できる。
- ・教員の仕事が多く、部活動も大きな負担になっている。休みがない。
- ・学校内だけでは部活動が成り立たない。生徒にとっての環境づくりが必要。

地域移行に反対している顧問の意見

- ・合同部活動が許可されれば、地域に移行する必要性を感じない。
- ・課題が山積しており不安。教員の負担軽減ならもっと他に削ることが沢山ある。

どちらとも言えないと回答した顧問の意見

- ・万全の準備を行い地域移行できるか不安。
- ・学校生活と連携した指導が部活動の良さだから残したいが、チームスポーツが学校単独で行うには苦しい状況になってきたため、どちらとも言えない。
- ・指導者がいるのか不安だが、このままでは教員の負担が減らない。
- ・教員の負担軽減という面では賛成したいが、課題が山積しておりこのまま地域移行するのも不安。
- ・完全地域移行なら賛成だが、土日だけ地域移行するのはメリットがない。休日と平日の指導内容が異なると、生徒が混乱してしまうのではなかいか。
- ・部活動指導をしたくて中学校教員になったので、モチベーションがもつか心配。

※部活動顧問や種目責任者へのヒアリング結果については、別紙参照

5.小学生へのアンケート結果 (市内小学校3～6年生対象 令和5年7月実施 回答総数2,017名)

(1)放課後や休日にやっていること(複数回答)

ある	1,405人	69.7%
ない	612人	30.3%

やっていることトップ10	割合
水泳	21.0%
ピアノ	15.0%
英語(会話・学習)	13.1%
サッカー	10.7%
塾・通信教育	9.2%
バスケットボール	5.8%
ダンス(社交・ヒップホップ)	5.7%
野球	4.7%
書道	4.6%
体操(新・器械)	4.5%

- 約7割の児童が放課後や休日に何かしらの活動をしている。
- 最も多かったのが「水泳」。次いで「ピアノ」「英語」「サッカー」「塾」となった。
- 複数の活動をしている児童は全体の3割強。6つの習い事をしている児童も。

(2)中学生になったらやりたいこと(複数回答)

部活やりたい	1,799人	89.2%
部活やりたくない	218人	10.8%

やりたい部活動	人数
バドミントン	486人
科学・実験	401人
バスケットボール	391人
サッカー	377人
美術	369人
金管・吹奏楽	273人
陸上	273人
バレーボール	268人
卓球	248人
野球	239人
茶道	238人
ソフトテニス	189人
剣道	178人
合唱	153人

やりたい競技・活動(今は部活でないもの)
水泳、ダンス系、料理、手芸・工作、柔道、弓道、空手、書道、演劇、生物、将棋、アーバンスポーツ、…

- 9割の児童が「部活をやりたい」と回答。
- やりたい部活で多かったのは「バドミントン」「科学・実験」「バスケットボール」「サッカー」「美術」など。
- 市内中学校の部活ではないが、やりたい競技・活動では、「水泳」「ダンス系」「料理」「手芸工作」「柔道」などの回答があった。
- 複数回答にも関わらず、1つだけを選んだ(≡やりたい活動が決まっている)児童は43.9%
- 「やりたい部活動」「やりたい競技・活動」の回答総数4,457のうち、進学する中学校にない競技・活動を選んだ回答数1,193(26.7%)

6.中学生へのアンケート結果 (市内中学校1～3年生対象 令和5年7月実施 回答総数1,362名)

(1)部活動の満足度等

満足度(最高5)	割合
5	52.0%
4	28.2%
3	13.9%
2	4.0%
1	1.9%

今の部活動を続けたいか	割合
続けたい	74.1%
分からない	20.0%
他の活動がしたい	3.2%
辞めたい	2.8%

満足度が高い生徒の意見

- ・楽しい
- ・仲間と一緒に活動できる
- ・技術や体力が身につく

満足度が低い生徒の意見

- ・人間関係、雰囲気
- ・目標や達成感がない(特に文化系)
- ・練習が多い、疲れる

- 現在の部活動に満足しており、続けたいと考えている生徒が多い。
- 満足度が低い生徒は、先輩後輩関係や友人関係などの人間関係が主な原因と答えている。

(2)部活に入っていない理由

部活に入っている	1,002人	73.6%
部活に入っていない	360人	26.4%

入っていない理由	人数	割合
他にやっていることがある	183人	50.8%
やりたい競技や活動がない	91人	25.3%
引退した・途中で辞めた	37人	10.3%
勉強を頑張りたい	14人	3.9%
面倒・興味がない	8人	2.2%
早く帰りたい・時間が欲しい	7人	1.9%
体調・怪我・不登校	7人	1.9%
部活動自体が苦手・大変	7人	1.9%
その他	6人	1.7%

他にやっていることがあると回答した生徒がやっていること

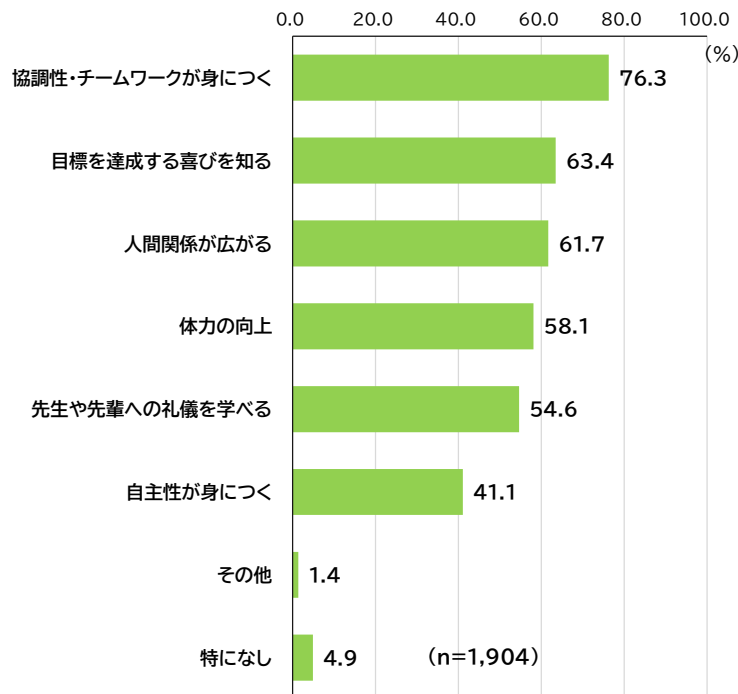
- ・サッカークラブチームに所属(47人) ・硬式野球チームに所属(29人)
- ・柔道、空手などの格闘技(26人) ・水泳(15人)
- ・ダンス、バレエ(8人) ・バドミントン(5人) など

やりたい競技や活動がないと回答した生徒がやりたいこと

- ・美術(11人) ・ダンス系(7人)
- ・バドミントン(6人) など

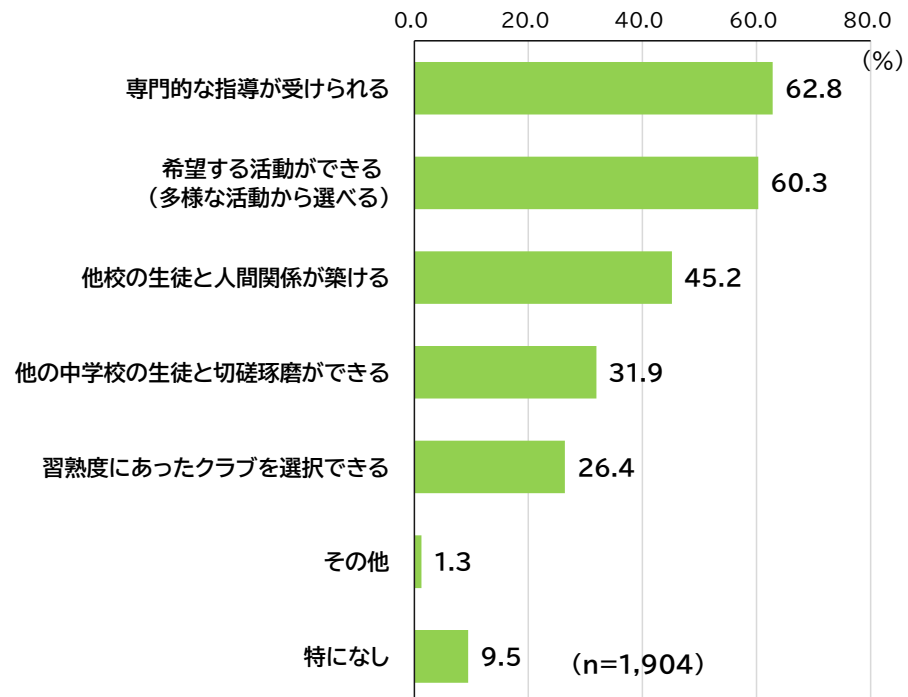
7.保護者へのアンケート結果 (市内在住の中学生以下の子どもがいる世帯対象 令和4年12月実施 回答総数1,904名)

(1)塩尻市の中学校の部活動に望むこと



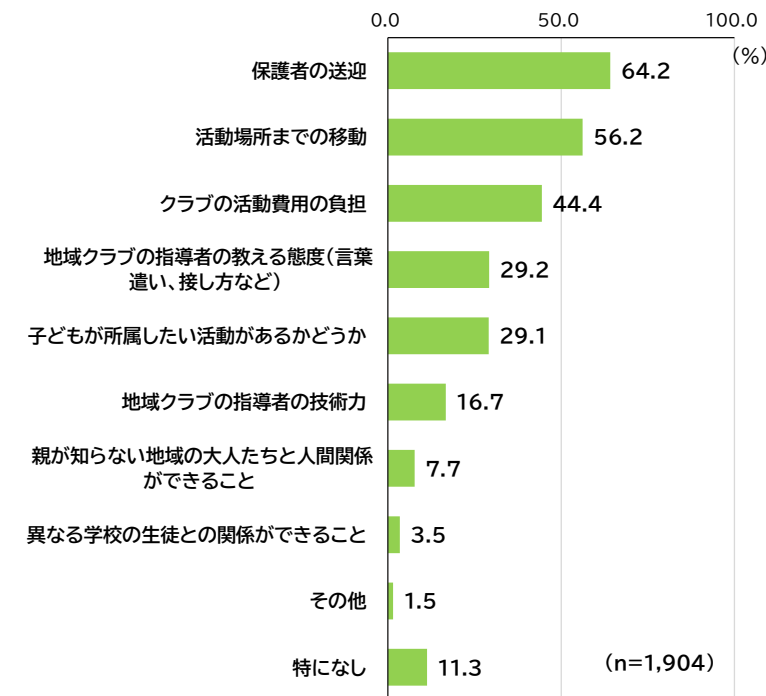
- 「協調性・チームワークが身につく」が最も高く、次いで「目標を達成する喜びを知る」「人間関係が広がる」の順に回答割合が高い。

(2)地域クラブ等が、中学校での部活動を担うことについて期待すること



- 「専門的な指導が受けられる」「希望する活動ができる(多様な活動から選べる)」の割合が高い。

(3)地域クラブ等が、中学校の部活動を担うことについて懸念していること



- 「保護者の送迎」の回答割合が最も高く、次いで「活動場所までの移動」の順であり、移動に関する事項が懸念事項としてあがっている。

将来にわたる課題

- 1 指導者確保（人材・研修・資格）
- 2 予算確保（国・県・市）
- 3 受け皿（スポーツ団体等）
- 4 活動施設の調整（含：減免措置）
- 5 大会参加・運営の方法
- 6 スポーツ団体チームの大会参加